

『福井・石川・京都青年団体交流会』

11月2日 於 福井企業

(株)長濱製作所 立入 一晃

昨年、京都にて行われました『福井・石川・京都青年団体交流会』を今回は福井県にて開催しました。福井機械工業青年会企業様2社訪問、そしてやきとりの名門『秋吉』様の本社工場を見学しました。

株式会社テクニカルミヤマ様は主に農業用、建設用トランスミッションの部品製造をされており、主にシフトフォークやフォークシャフトの加工されていました。材料が鋳物でありながら、工場内はすごく綺麗にされ整理・整頓が行届いていました。また材料の仕入れも京都から一部されているとのことでした。株式会社福井計器製作所様は主に船舶で使用される機械式回転計の生産をはじめ、小物をメインとした精密部品製造をされています。

またリーマンショックを教訓に、色々な活動をされ生産管理システムの構築、社内プロジェクトチームを発足して改善活動を熱心にされており、色々勉強するところが沢山ありました。振川社長様、橋本社長様も言っておられたことが社員さんを大切にし、良い製品をお客様に提供する、当たり前のことですが改めて再認識しました。

昼食はやきとりの名門『秋吉』様の本社工場で摂りました。昼食後に工場見学させて頂き、生産現場の半分以上の社員の方は外国人でした。1日何万本という串刺しの作業でそのスピードは凄まじいものでした。見学後、秋吉の片岡社長様にご講演頂きました。今の本社工場に移転するまで、廃水処理・騒音・土地問題など地域住民への説得話、地域社会への貢献活動、環境への取り組み活動等ご講演頂き、大変勉強させて頂きました。

夕方からは福井市内のホテルで懇親会をしました。何人かの方は昨年京都で懇親会したときにお会いした方がおられたので懐かしく歓談しました。各テーブル内で名刺交換し、事業・経営・プライベート等色々な話題で真剣に話をされているのが印象的でした。また、歓談中に各団体のアピール、各社の事業説明、最後には一発芸みたいなイベントがあり、大いに盛り上がりました。各地域によって景気はバラバラでありましたが、経営として今何をすべきか、これからの方向性、進むべき道、各団体の皆さんは真剣に考えておられました。同じ経営者としてこれからも切磋琢磨し、日本のものづくりを福井・石川・そして京都から発信していければと思います。

